

防虫科学

季刊

第 33 卷—III

原 著

10. 殺虫性サリゲニン環状リン酸エステルの研究 (第12報)
核置換誘導体の殺虫性 江藤 守総・小林 健・笹本 忠夫・鄭 弘命
相川 高利・久米 豊彦・大島 康義……73
11. ハダニのコリンエステラーゼの基質特異性 本山 直樹・斉藤 哲夫……77
12. マツの樹皮下に穿入したキイロコキクイムシに対する
BHC 乳剤の有効度 林業害虫の防除に関する研究 (第3報)
長沢 純夫・浅野 昌司・伏見 静枝……80
13. 餌木のマツから羽化脱出するキイロコキクイムシの成虫の分布
林業害虫の防除に関する研究(第4報) 浅野 昌司・長沢 純夫・伏見 静枝……86
14. 殺虫剤の効力増進に関する基礎的研究 (VIII).
 ^3H -アレスリンおよび ^3H -フタルスリンのイエバエに
おける代謝について 林 晃史・斎藤 哲夫・彌富 喜三……90

綜 説

昆虫の体内時計

宇尾 淳子……95

抄 録

……………117, 118

財団法人防虫科学研究所

京 都 大 学 内

昭和43年8月

防 虫 科 学

編 集 委 員

主 幹 武 居 三 吉

内 田 俊 郎 大 野 稔 中 島 稔

石 井 象 二 郎 井 上 雄 三 深 海 浩

投 稿 規 定

1. 防虫科学に関する研究報文，綜説ならば誰でも投稿できる。ただし原稿の取捨は編集委員会できめる。また原稿の字句については加除修正を行なうことがある。
2. 報文は邦文または欧文とし，邦文には欧文の，欧文には邦文の要約を添える。表題，著者名および所属機関名などは邦文・欧文両者を併記する。
3. 邦文原稿は原則として本誌規定の原稿用紙（400字詰50枚100円）を用いる。欧文はタイプライター用紙にタイプライターでダブルスペースに打つ。邦文原稿の写真，表および図の説明は欧文とする。
4. 邦文は平かな，新かな使いとし，欧語音読には片かなを用いる。ただし物質名，人名などは欧文のままとする。図は白紙または青線方眼紙にいてねいに墨書し，原稿とは別紙とする。不完全な図はトレーシング費用を負担してもらうことがある。
5. 動植物の学名の下には_____を付ける（例：Chilo suppressalis イタリックとなる）。和名は片かなを用いる。数字はすべてアラビア数字を用い，数量の単位はメートル法による。単位および術語の略字は本既刊誌を参照されたい。
6. 句読点，カッコは1画を与える。ハイフンは区画の罫線の上に明瞭に書く。本文中の引用文献番号はカッコを付けて肩に小さく書く。文献は報文の最後に通し番号の順に列記し，著者名，雑誌名(書名)，巻，頁，年月の順に記し，巻数には_____を付ける（例：(1) Stevenson E. and Wyatt G.R. : Archs. Biochem. Biophys. 99, 65, 1966). 邦文雑誌名は日本化学総覧，欧文雑誌名は Chemical Abstracts, Biological Abstracts の規定の略名に従う。
7. 校正は原則として初校に限り著者が行なう。
8. 別刷は50部贈呈する。それ以上の希望数に対しては50部を単位とし，実質を申受ける（当分刷上がり1頁6円の計算による）。
9. 原稿の送付には送状を付し，発送年月日，連絡先，原稿枚数，写真および図・表数，別刷希望数などを記入する。原稿の郵送は書留とし，校正は速達とする。
投稿その他の編集に関する連絡は下記にされたい。

京都市左京区北白川 京都大学農学部
農薬研究施設 石井象二郎 (771) 8111 内 4669

“SCIENTIFIC PEST CONTROL”
BOTYU-KAGAKU

Bulletin of the Institute of Insect Control

Editor Sankichi TAKEI

Editorial Board

Syunro UTIDA, Minoru OHNO, Minoru NAKAJIMA,
Shoziro ISHII, Yuzo INOUE, Hiroshi FUKAMI

CONTENTS

Originals

10. Studies on Saligenin Cyclic Phosphorus Esters with Insecticidal Activity. Part XII.
Insecticidal Activity of Ring-Substituted Derivatives.
Morifusa ETO, Ken KOBAYASHI, Tadao SASAMOTO
Hong-Ming CHENG, Takatoshi AIKAWA, Toyohiko
KUME and Yasuyoshi OSHIMA73
11. Substrate Specificity of Cholinesterases in Mites.
Naoki MOTOYAMA and Tetsuo SAITO77
12. Effectiveness of BHC Emulsifiable Concentrate on Adults of
Cryphalus fulvus Nijima Living Beneath the Bark of Pine
Tree. Studies on the Control of Forest Insects. III.
Sumio NAGASAWA, Shoji ASANO and Shizue FUSHIMI80
13. Spatial Distribution of Emerged Adults of *Cryphalus fulvus*
Nijima from Pine Branches Placed for Oviposition.
Studies on the Control of Forest Pests. IV.
Shoji ASANO, Sumio NAGASAWA and Shizue FUSHIMI86
14. Studies on the Increment of the Efficacy of Insecticides (VIII).
Metabolism of ³H-Pyrethroids in the Adult House Fly, *Musca*
domertica vicina Macq.
Akifumi HAYASHI, Tetsuo SAITO and Kisabu IYATOMI90

Review

- Central Nervous System Control of Circadian Rhythmicity in Insect.
Junko UWO95

Abstracts117, 118

Published by

THE INSTITUTE OF INSECT CONTROL

Kyoto University

Kyoto, Japan